



# 議会広報特別委員会

委員長 友石司 副委員長 河野ひとみ

委員

高橋由美 黒木健二 黒木雅由 近藤勝久

日高和広 成合進也 壺岐紘明

視察先

京都府 乙訓郡大山崎町

久世郡久御山町

# 視察の概要

10月19日（木）

おとくにぐんおおやまざきちよう

京都府乙訓郡大山崎町議会

「広報広聴機能の強化

議会だよりの編集等について」

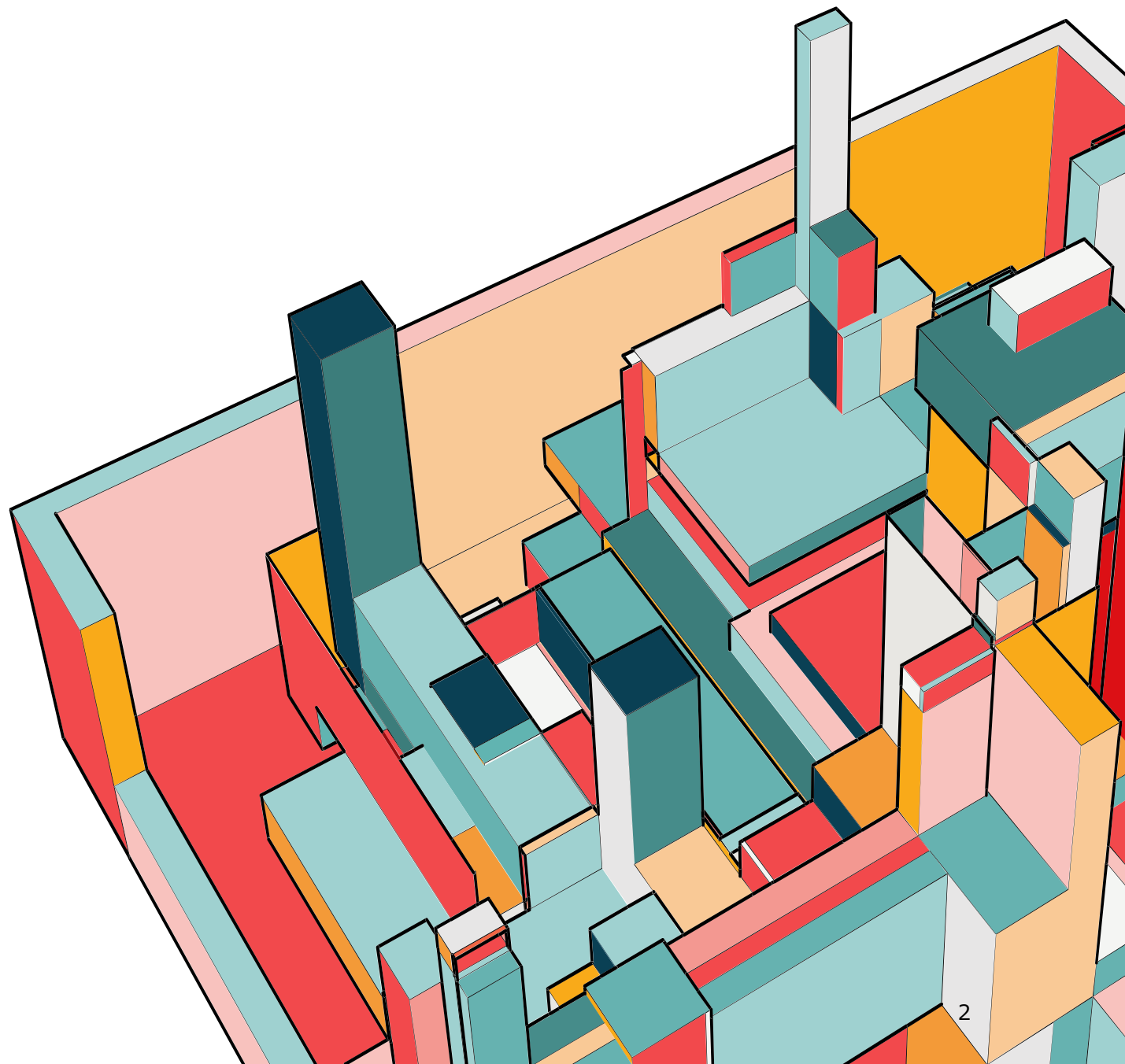
10月20日（金）

くせぐん くみやまちよう

京都府久世郡久御山町議会

「広報広聴機能の強化

議会だよりの編集等について」



# 視察先について



**大山崎町** (京都府乙訓郡)

〈人口〉16,242人 (令和6年2月1日時点)

〈世帯数〉6,755人 (令和6年2月1日時点)

〈面積〉5.97km<sup>2</sup>



**久御山町** (京都府久世郡)

〈人口〉15,373人 (令和6年2月1日時点)

〈世帯数〉7,365人 (令和6年2月1日時点)

〈面積〉13.86km<sup>2</sup>



# 視察内容

京都府乙訓郡大山崎町議会

[大山崎町議会だよりが目指すもの  
ー読まなくていい議会だよりー]

- ・表紙の写真や**タイトルデザイン**にこだわることで、市民への訴求効果を図っている。
- ・一般質問の掲載は1質問に限定。**フライヤー**のような感覚で見れる誌面づくりをしている。
- ・町民を登場させることで、「**この人**出ているなら見てみよう」という気持ちづくりをさせている。

大山崎町議会だより  
(令和5年6月号表紙)



画像引用元: 大山崎町HP>大山崎町議会>議会だより  
(<https://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/annai/gikaijimukyoku/gikaikakari/gikaidayori/r5/9771.html>) 4

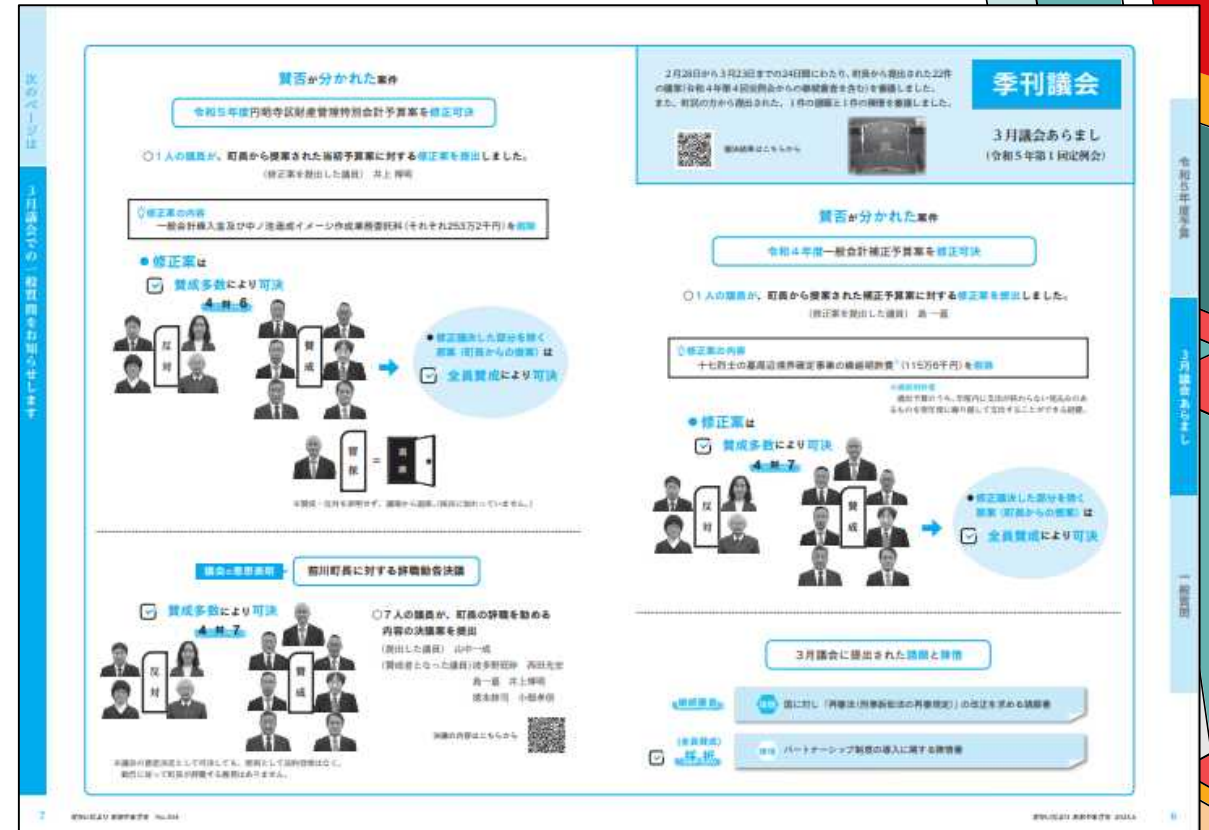
# 視察内容

京都府乙訓郡大山崎町議会

[大山崎町議会だよりが目指すもの  
- 読まなくていい議会だより -]

- ・文字を減らし余白を確保。誌面の「軽さ」を重視し、「見よう」と思われるよう工夫している。さらに詳しく知りたい場合は二次元コードでHPへ誘導するようにしている。
- ・議会広報常任委員会のメンバーが変わっても継続できるよう「**広報編集方針**」を作成している。

大山崎町議会だより  
(2023年6月号6・7ページ)



画像引用元: 大山崎町HP>大山崎町議会>議会だより  
(<https://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/annai/gikaijimmukyoku/gikaikakari/gikaidayori/r5/9771.html>)

# 大山崎町議会の視察を終えて・・・各委員の所感

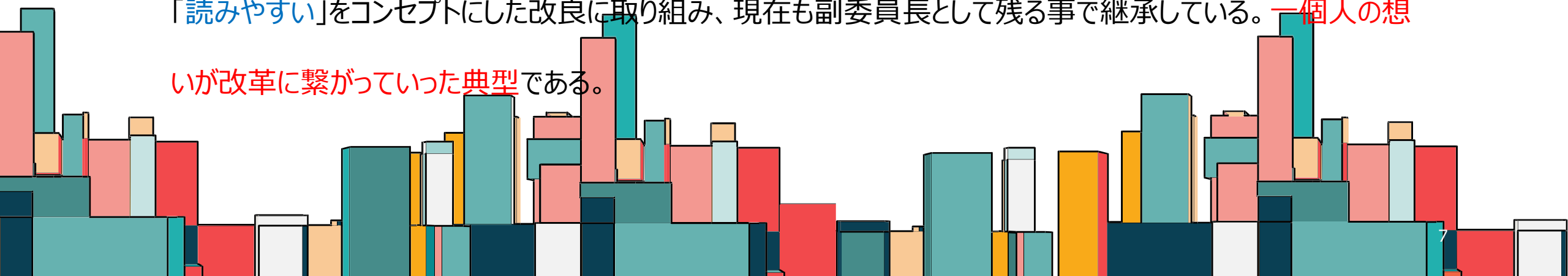
- 「**広報編集方針**」の作成に感銘を受けた。全国どの議会でも、市民が「議会だより」を手に取り、最後まで読んでもらう努力をしているが、なかなか結果が出せないでいる。そのような中、先駆的な取り組みを行い、**議会のためではなく「街」のための「議会だより**」を発行している努力に感服し、当市議会でも取り入れたい内容であった。研修(クリニック)等へも積極的に参加されており、その姿勢も真似したい。
- 行間にゆとりがあり**すっきりした冊子**が出来上がっている。
- 形骸化からの脱却**を述べていたが、毎号よく工夫されていると感じた。

# 大山崎町議会の視察を終えて・・・各委員の所感

● 目指しているのは「**読まなくていい**」議会だより。**手にしやすさ**を意識した表紙や誌面の軽さ、住民に身近な存在を意識した表紙や裏表紙づくり、文字の量、一般質問の取り上げ方等の工夫がみられた。独自で「広報編集方針」を作成し、広報誌の在り方を振り返れるようにしていた。

● 令和元年から大幅な広報誌の作成手法を変えていくにあたり、委員長・副委員長が議員同士の政治的スタンスの違いによる意見の食い違いを調整しながら作成に至っている。現副委員長が委員長を務めた時に、

「**読みやすい**」をコンセプトにした改良に取り組み、現在も副委員長として残る事で継承している。**一個人の想**  
**いが改革に繋がっていった典型**である。



# 大山崎町議会の視察を終えて・・・各委員の所感

● 文字数を抑え余白を上手に使い、写真やイラストを多く使用するなど、「読まなくていい広報誌」をコンセプトとしている。このコンセプトは、情報伝達において視覚的要素の重要性を示唆しており、広報誌の効果的なデザインに大いに貢献している。さらに美しい写真やイラストを豊富に使用することで、**情報を魅力的に伝えている。読者の目を引きつける工夫**が随所に見受けられた。



大山崎町 視察時の様子



# 視察内容

## 京都府久世郡久御山町議会

[久御山町議会広報広聴常任委員会  
の特色ある取組－議会モニター制度－]

- ・定例会のページは各常任委員長が執筆を担当。議会は何を議論しているのかということ、住民が議会だよりを通して把握できるよう、**委員会での質疑をできるだけ載せる**ようにしている。
- ・**一般質問は、議員1人あたり850字**掲載できる。掲載スペースとしてはA4サイズ1枚分。そのため、一般質問者の数によって議会だより全体のページ数が変わる。

久御山町議会だより  
(2023年8月1日号表紙)



画像引用元: 久御山町HP>久御山町議会>議会だより  
(<https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000000154.html>)

# 視察内容

京都府久世郡久御山町議会

[久御山町議会広報広聴常任委員会の特色ある取組－議会モニター制度－]

- ・議会だよりや議会運営について、町民の意見を伺うため「議会モニター」制度を取り入れている。議会だよりに対するアンケートに回答していただいたり、議会モニター会議に出席していただいたりしている。

久御山町議会だより  
(2023年8月1日号)  
右:6ページ  
左:19ページ



画像引用元: 久御山町HP>久御山町議会>議会だより  
(<https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000000154.html>)

# 久御山町議会の視察を終えて・・・各委員の所感

- 市民の声にしっかり耳を傾ける「**議会モニター**」の設置は画期的な取り組みだと感じた。市民目線で読みたくなる広報誌づくりに取り組む姿勢を見習いたい。また、議会主催の地域懇談会の開催を定期的に行い、**直接地域の声を聞く機会**を得ており、当市議会でも積極的に取り入れたいと感じた。
- 広報誌編集・発行まで、以前は事務局だよりでやっていたが、見やすさ、読みやすさにこだわり、**常任委員会として編集作業**を行っていた。また、議会モニターを募集して、**モニターの意見も参考**にして、広報誌の編集をしている点も特徴的であった。

## 全体を通して…各委員の所感

- 2町の視察で受けた印象として、どちらにもやはりキーマンとなる議員の存在はあるが、その熱量によってどう変わってくるのかも垣間見えた研修となった。広報誌という媒体をどう認識し、活用を見出すのが今回の視察を受けて一番の学びとなった。

- 広報誌作成には、これまでの広報広聴の課題整理・分析・抽出及び内容（結果）の共有が必要である。労力と時間がかかると思われるが、そのような丁寧な活動の積み上げが、市民の興味や関心を得ることにつながると理解した。

# 全体を通して…各委員の所感

- 住民インタビューや「このまちこのひと」のコーナーなど、**住民参加型を取り入れた誌面構成**に特徴が見られた。議会広報であるから、議会情報・行政情報の提供は必須であるが、硬くなりがちな構成の中に、住民参加のコーナーを織り込むのも一つの方法である。感覚として、誌面の軽さも必要との事。もちろん、そのバランスは考慮する必要がある。
- **文字数を抑えるというアプローチ**は、情報の簡潔さにつながり、**読者が疲れずに広報誌を閲覧**できる。広報誌の視覚的な情報伝達は、市民への情報提供において効果的であり、重要な出来事やプロジェクトをわかりやすく紹介する手段として有効である。

# 全体を通して…各委員の所感

● 広報誌を読んでもらうための方策についてよく研究を行っていた。まず目に留めてもらい、そこから中身を読んでもらうというステップアップ的な方法を取っていた。視察先の中には普通交付税不交付団体の自治体もあり、それが故のフレキシブルな対応が可能なのかもしれない。また町村議会広報コンクールの企画・構成部門で上位に入っており、これも日頃の研究の成果であろう。



久御山町 視察時の様子

# 議会広報特別委員の紹介



友石 司  
委員長



河野 ひとみ  
副委員長



高橋 由美  
委員



黒木 雅由  
委員



黒木 健二  
委員



近藤 勝久  
委員



日高 和広  
委員



壺岐 紘明  
委員



成合 進也  
委員

# ありがとうございました



久御山町議会議場にて